

# 白門文京

中央大学学会東京文京区支部会報  
(題字/坂本幸男 支部相談役)

第3号

発行所  
白門東京文京区支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6  
TEL. 03 (3814) 7059  
FAX. 03 (3814) 0583

編集人 白門東京文京区支部広報委員会  
発行人 支部長 田中 祺益

## 支部長就任に当たって

田中 祺益  
よしみつ



飯塚佳治初代支部長の後をうけて、間もなく一年となります。お陰様で結成五周年の年度末を迎えられ、すことを関係各位に深く感謝申し上げます。

ホールでの母校の管弦楽団の定期演奏会に、当支部として微力ながら支援できましたことは、支部の存在を周知させ得たと考えます。また、東京都区内支部連合会等にも出席し、他支部との交流を図りました。

さらに次年度は年次支部主催の学員と留学生との交歓パーティー、「留学生を励ます会」等のイベントが予定されています。

二十一世紀の幕開けと共に第六期を迎えますが、支部の今後益々の発展のため、会員各位の多大のご支援、ご協力をお願い申し上げます。併せて皆様方のご健康とご多幸を祈念し、就任の挨拶といたします。



中央大学学会東京文京区支部  
平成13年新年会

## 平成十三年度新年会

## 「フォレスト本郷」で開催

白門文京区支部  
の平成十三年度新

平成13年度

### 「総会」のお知らせ

- 日時 5月16日(水) 18:00~
- 会場 文京区民センター2A
- 会費 ¥5,000

年会が去る二月六日、フォレスト本郷(文京区本郷六丁目)で開かれた「写真」。

会場のフォレスト本郷は、住宅地に位置する小体で瀟洒なブチホテル風の宿泊兼宴会施設。

当日、三十余名の支部会員が参加、午後六時過ぎ松沼茂事務局長の司会・進行で開会。

まず田中祺益新支部長が開会挨拶を兼ねて支部長就

任の抱負を披歴、続いて遠藤正則、飯塚佳治両支部顧問の挨拶の後、懇親パーティーに移行。

宴席では盛り沢山の料理、ビール、酒、ワイン類を前に参加者は自己紹介に続き名刺交換、記念撮影など久しぶりの再会もあって盛り上がる中で、恒例の「校歌」「惜別の歌」を全員で合唱。「直千金」の一刻を満喫した。

(窪岡善則)

# 第五回定例総会を開催

白門文京区支部第五回定例総会が平成十二年五月十日文京区民センターで開催された。

中央大学学員本部からは市橋千鶴子副会長、大学からは辰川弘敬常任理事、大久保信行理工学部長の各先生にご出席いただき盛況な会となった。

第一部総会で、議事①平成十一年度事業報告、②平成十一年度収支決算、③平成十二年度事業計画、④平成十二年度収支予算をそれぞれ満場一致で可決、また、今回の総会は、二年に一度の役員改選に当たるとため田中祺益支部長以下の役員が新たに選任された。飯塚佳治前支部長には支部設立から運営まで、四年間にわたるご尽力に出席者全員で感謝を込めて拍手。

総会に引き続いての懇親会は、遠藤正則顧問のあいさつに始まり、来賓の方々



## 母校は今!

二十一世紀に日本の私

から懇切なお祝辞をいただいた。目の前には冷たいビールと文京会館オーナーシエフ手作りの仏料理の数々が並び、乾杯の声を待ち望む会員達の視線を受けていよいよ宴会が開始。各々数人の小さなグループが出来、会員同士話が弾み、また出席者四十名から一言ずつ自己紹介もあり、宴会もいよいよ佳境に。

学を指す中央大学は、一昨年に市谷校舎を獲得立ち上げていますが、二〇一〇年の大学一二五周年に向け

### 平成12年度事業計画

事業名	実施時期
定時総会・懇親会	12年5月10日
本部行事	適年
納涼屋形船、ホームカミングデーへの参加、新年会	適年
サークル行事	適年
ゴルフ、俳句、農業種交流会、釣り、ハイキング、史跡散歩と食へ歩き観劇等	適年
会報の発行、会員の葬儀	適年
役員会の開催	随時

### 平成12年度収支予算

<収入の部>		本年度	前年度	差	引換要
①会費	536,780	600,000	600,000	0	増3,000×200人
②懇親会費	280,000	250,000	250,000	0	増5,000×50人
③雑収入	33,603				増
④繰越金	548,530	548,530	548,530	0	
合計	1,398,913	1,365,279	1,389,530	△33,251	
<支出の部>		本年度	前年度	差	引換要
①会議費	20,700	100,000	100,000	0	総会、役員会等の会場増
②懇親会費	226,002	250,000	250,000	0	リ上げ費、役員会弁當代
③事務費	271,932	300,000	250,000	50,000	増5,000×50人、総会予・決算書、事業計画・報告書、会員名簿等の印刷経費、乾杯費等の他事務費
④事業費	320,000	500,000	500,000	0	会報の発行、屋形船、新年会、サークル等諸行事
⑤対外活動費	45,000	50,000	50,000	0	都区内支部連合会等への出席
合計	883,634	1,365,279	1,389,530	△33,251	

### 平成11年度収支決算

<収入の部>		決算額	摘要
①会費	536,780	536,780	2,000×181人=536,780
②懇親会費	280,000	280,000	5,000×50人=250,000、 学員会費20,000、文京会費10,000
③雑収入	33,603	33,603	利子500、新年会雑金33,103
④繰越金	548,530	548,530	
合計	1,398,913	1,398,913	
<支出の部>		決算額	摘要
①会議費	20,700	20,700	総会、役員会、新年会の会場費、延べ6回分
②懇親会費	226,002	226,002	料理、飲物222,222、土産3,780
③事務費	271,932	271,932	郵券194,000、発送委託16,800、 専員費10,000、必用ビラ18,900、 印刷24,675、写真代等5,888、専電1,669
④事業費	320,000	320,000	納涼屋形船58,000、俳句会10,000、 ゴルフ10,000、元祖散歩と食へ歩き会10,000、 農業種交流会10,000、総研会10,000、 ホームカミングデー2,000、 会報印刷費210,000
⑤対外活動費	45,000	45,000	都区内支部連合会出席費35,000、 皇田支部出席10,000
合計	883,634	883,634	

### <差引残高>

1,398,913 - 883,634 = 515,279 翌年度へ繰越

上記のとおり報告します。

平成12年4月4日

支部長 飯塚 佳治  
会 計 吉村 博夫

### 監査報告

私たちは、平成11年度の会計及び事業執行状況について役員から報告を受け、会計書類等を検査することにより監査した結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成12年4月4日

監 事 田中 謙益  
監 事 伏川 龍一  
監 事 石田 重夫

最後は全員で肩を組んで陣を作り、恒例の「中央大学校歌」、「応援歌」、「惜別の歌」を合唱し、閉会となった。

(加藤康人)

て多くの記念事業計画をもっています。昨年の学校債募集の際にも、一部発表されていきますが、後楽園キャ

#### 文京支部・この一年の動き (平成11年度事業報告)

年月日	事業名	場所	参加人数
11.5.17	平成11年度総会・懇親会	区民センター	47
4月-3月	運動会の部、毎月1回12回開催	区民センター	各回7-9
6.2	第1回役員会	区民センター	15.9
7.24	総研会	東京文化会館	12.9
9.8	第4回納涼屋形船	東京都江川川区-横江大橋	44
11.1	第4回中央大学区内支部連合会	立川川総合市民ホール	5
11.1	第4回中央大学区内支部連合会	立川川総合市民ホール	5
10.14	第2回役員会	区民センター	15.9
10.24	中央大学中央大学学生会	中央大学中央大学学生会	9
11.1	第2回総研会	区民センター	12
6.1	第3回史跡散歩と食へ歩き	史跡散歩(高尾山-低尾山-二子)	11
11.1	第4回役員会	区民センター	12
12.1	第4回役員会	区民センター	12
12.1.27	平成12年度計画	区民センター	44
3.6	第5回役員会	区民センター	15

そばと地酒

そば処

湯島 多なか

TEL/FAX 5684-8150

本物だからおいしい

当店では北海道幌加内農協と契約栽培したそば粉を使用しております。何卒楽しくお召し上がり下さい。

ンパス新棟建設をはじめ多摩学生生活関連棟・多摩オプキヤンパス棟を中心に更に幾つかの新棟建設プランと共に法科専門大学院（ロースクール）、国際会計専門大学院（アカウンティングスクール）建設等…の計画が口白押し。これらの実現の為に今年中に大学は学員及び関係者に応分の募金依頼について案内の予定です。

### 母校スポーツ便り

昨年のシドニーオリンピックにおける中大水泳陣、銀メダルの中村真衣選手に加え、田中雅美、源純夏の銅メダルの獲得、野球の阿部慎之助君らで大いに盛り上がった中大スポーツ界、彼らの大活躍を引き継ぐよな箱根駅伝での往路優

### シビックホールのクラシック音楽鑑賞

中央大学の管弦楽団の定期演奏会が文京シビックホールで開催。わが文京区支部もそれなりの応援で三十名の席を確保、十一月二十三日の祝日、当支部は大応援団で臨んだ。

当日の午前中は「史跡巡りと食へ歩き」と重なった

勝、総合優勝こそ逃したものの列島全国民の目を釘付けする鮮やかなトップゴール。二〇〇一年、新世紀での日本、を口指す中央大学、学生、学員にとって歓喜の正月二日となった。

その夜、全国数十万の中大健児、学員らは、財布の続く限り飲み、食い、歌い、不況の日本経済、地場産業を久々に盛り上げた事と思う。尚、これらのビッグニュースの他にわが中大スポーツ界の頑張りを、筆加えると、全国大会及び東日本大会の優勝団体だけに限っても水泳部・準硬式野球部・弓道部・柔道部・射撃部・バレーボール部・自転車競技部・漕艇部・フェンスンク部と多種に渡り、加えて個人優勝も数多く、も

ちろん個人団体での二位、三位入賞も数知れず。そしてそれらの総合的な活躍、努力が下地となり、今年の大学受験界では、全国の有力校が軒並み受験生を激減させている中で、わが中央大学は一人もの増加という素晴らしい結果となつて実を結んだ。

**若致十両優勝!**

大相撲存場所（大阪三月十一日〜二十五日）において東十両三枚目の若致閑（わかつとむ・本名・中尾浩規・松ヶ根部屋）は千秋楽十勝五敗同士で鬪牙との優勝決定戦で見事押し出しで破り初優勝、来場所は幕内上位に上がり、大関出島や玉春日と並んで中大三羽鳥としての活躍が楽しみ。

### 五周年とも重なって団員も

が、田中支部長はじめ、元気にダブル参加。開場には鈴木康司学長も姿を見せ、中大関係者に一般参加者で大ホールを埋め尽くす。中大管弦楽団は各コンクールで上位入賞する実力で、今回で四十四回目とのこと。指揮者の小松一彦氏の十

五周年とも重なって団員も気合いが入っていた。

曲目はブルックナー交響曲第三番二短調をはじめ数曲のクラシックが会場に響き、荘厳で崇高な調べに日頃クラシックに縁のないわが文京支部の面々もただただ静かに澄みきった心地で聴き入った。

(松沼 茂)

### こんな活動をしています

「白門文京」支部事業のご案内

当支部では会員相互の親睦、他支部との交流等のため様々な行事を行っております。多くの会員が気楽に参加出来るように、スポーツ、文化学問と多方面にわたっており、これらの行事を通じて、会員相互が、趣味に、事業に、又ライフワーク等に、有意義に活用、発展が目的です。

主な行事

- 箱根駅伝を応援する会
- 日本列島がテレビに釘付けの正月二日、三日、それぞれが自宅のコタツで旅先で箱根で大手町で、はたまた故郷の団伊奥で自由に応援
- 新年会（例年一月下旬〜二月上旬）
- 今年二月六日夜、東大正門前の新築ホテル、フォーレスト本郷にて開催。
- 定例総会、懇親会
- 平成十三年度は、五月十六日午後六時三十分より、区民センター2A。
- 留学生との交流会（今年六月二十四日、京王フラザ）
- 当年度次支部が主催する「中央大学に学ぶ留学生と学員との国際交流の集い」に金品、人の協力。
- 納涼屋形船（七月〜九月）
- 夏こそビール、の掛け声に毎年大勢の参加者、ビール、天ぷら、カラオケ三昧の夕べ、今年の会場は未定。
- ゴルフ会（年一回）
- 院に覚えのある人、ない人老若男女が気楽に子ヨロ、パチャの一日を送る。
- 俳句会
- 五・七・五は世界的ブーム、頭のトレーニングに最適
- 史跡巡りと食へ歩き
- 文京区教育委員会所属の講師による区内名所史跡巡りと話題のグルメ店での会食。
- 母校訪問
- 春の観桜会、秋のホームカミングデーに有志が参加
- 部内他支部との交流
- 部内各支部との年一回の交流。今年北區が当番支部。
- 文化講演・釣り会・異種交流会・グルメ会も開催予定。

(事業担当 松沼茂)

## 相場有二 税理士事務所

税理士 相場有二

事務所 東京都文京区本郷4-12-16  
 トーア文京509  
 〒113-0033 電話(3811)8302番(代)  
 FAX(3811)8326番

01  
HAKUMON  
BUNKYO  
2001  
GRAPHY  
グラフィティ



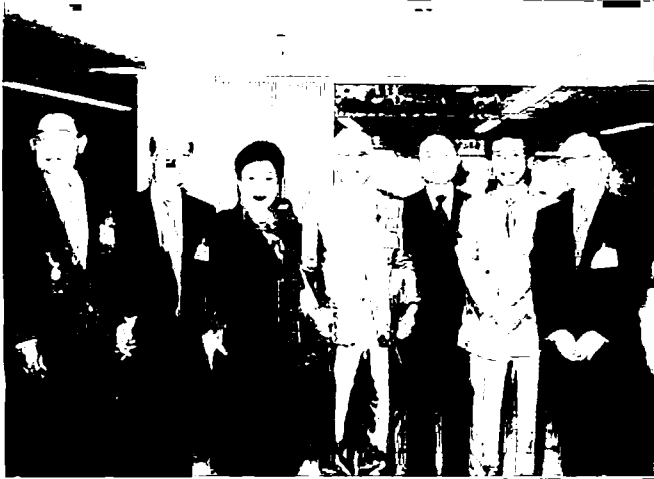
懇談は自由に、  
「校歌」は一致団結して  
「新年会」



戦いすんで日が暮れて  
「ゴルフコンペ」



温故知新  
「史跡散歩と食べ歩き」



# 「白門 2000 文京」

各種イベントスナップあれこれ



来賓の諸先生方も賑々しくご来席「定例総会」



今宵もビールがうまい！  
「納涼屋形船」

歌声は川風に乗って……



# 歴史の一端にふれ

## 「目から鱗」の思い 「史跡散歩と食べ歩きのお会」

去る十一月二十三日、恒例の「文京史跡散歩」が文京区文化財調査員の唐沢勝敏氏の案内で行われました。

冬ざれの寒い一日でしたが、参加者十五名が熱心に見て歩きました。

まず、つじまつり有名な根津神社、その歴史は古く六代將軍となる家宣の産土神となり、宝永二年、五代將軍綱吉が甲府屋敷跡に根津神社を移し、今日見られる社殿を造営したもので、その絢爛華麗な権現造りには見学者一同ただ感嘆するばかりでした。

つぎに漱石旧居跡へ。ここは漱石が「我が輩は猫である」を書いた所で通称「猫の家」と呼ばれていたものです。

それから今は、鵬外記念本郷図書館になっている敷下通りを鵬外の観潮楼跡に向かいました。「三人冗語

の石」や鵬外の愛した「沙羅の木」が垣間見られ、表門跡には門の礎石や敷石が当時のまま残り、参加者一同はしばし、懐旧の思いに浸りました。

つぎに、「元始女性は太陽であった」で有名な平塚雷鳥の青鞥社発祥の地や江戸川乱歩が始めた古本屋「二人書房」跡を見て回りました。

最後に、千駄木一丁目にある六地藏第二番目へ。当時東都六地藏として有名でしたが、現存するのはここ専念寺と日暮里の浄光寺の二体だけで、非常に貴重なものとなっております。一見の価値あります。

最後は、千駄木の「天外天」で寒さで凍えた体をあため、しばし懇親を深めて解散となりました。区内に残る歴史の一端に触れ、まさに「目から鱗の落ちる思い」でした。(角員久雄)

# 優勝は加藤、準優勝は北川氏

## 第五回ゴルフコンペ

第五回ゴルフコンペは、平成十二年十一月八日、佐原スプリングスCCにて開催された(今回も上屋頼子さんの尽力による)。



一回目からの連続参加者

あり、初参加者ありで、予定の十二名を上回る申込みがあり、役員会に諮って今年から年二回開催することを決定し、第六回は、今秋に予定している。会員の皆様の奮つての参加、特に女性の申し込み大歓迎。

今回はタフなコースで予想どおり、実力者の加藤康人さんがベスグロでの優勝を果たした。(北川 繁)

成績は次の通り(敬称略)。

- ▽優勝 加藤康人 (ネット71)
- ▽準優勝 北川 繁 (同79)
- ▽第三位 小川 悟 (同80)

## 葉月会(俳句)より

俳句会も早や五年に。新たに荒谷康司氏、今井岩夫氏と2名参加され女性陣3名を加えて総勢12名になりました。会員の句をご参考までに。

(西村友男)

遠き日やベチカに結ぶ  
兵の夢 菊田坊

山寺のもてなし柿と  
艶話 緑風

盆の月故郷遠き 成光

余生かな 香人

絵島てふ流人の墓の 守信

決断の火箸突きさす 康治

嫁ぐ娘の暮しのにじむ 繁

遅れ賀状 繁

コスモスや来世は女に 岩夫

なるもよし 岩夫

大仰な初笑ひせり ともお

スクールユニフォーム  
オフィスウェア  
学生帽徽章その他記念品

製造販売  
有限会社 **モトハシ**  
〒113-0021 文京区本駒込1-4-5  
TEL.03-3941-5214  
(法31年卒 本橋 元一)

ビル清掃総合管理  
リフォーム・マットのリース  
産業廃棄物処理

株式会社 **雅産業**  
〒113-0021 文京区本駒込1-4-5  
TEL03(3943)2491  
(法31年卒 本橋 元一)

### 川風にビール、江戸前穴子：第五回「納涼屋形船」

平成十二年八月二十九日、第五回納涼屋形船の行事が行われました。七十名乗り豪華屋形船を借り切つての乗船は、参加者二十六名にとつては、ゆつたりとしてくつろげま

す。夕方七時、全員揃つたところで東京湾デイズニールランド沖に向かつて出航。机の上には、刺身の盛り合わせ、あさりの酒蒸しなどが並べられ、冷たいビールのど越しの良いこと、こ

の上なしです。メイン料理はもちろん天ぷらの食べ放題、江戸前の穴子などそのおいしきは格別です。川風を浴びながらのビールはほとんど杯が進みます。八月は、東京デイズニールランドの花火が打ち上げられ、夏の風情を一層盛り立

てます。帰りはカラオケ大会です。備え付けられた大型スクリーンでのど自慢の面々の十八番がとび出し、歌が続きます。棧橋に着く頃には全員で「校歌」「惜別の歌」を合唱し、楽しかった夏の夜の納涼屋形船はお開きとなりました。(加藤康人)

### 会員名簿

(平成13年4月1日現在) 50名

相場有(70) 青木正一(71) 青木包輔(72) 青木憲之(73) 青柳武(74) 秋岡文忠(75) 秋山清久(76) 秋山公(77) 阿久津健雄(78) 浅井誠一(79) 浅川寅夫(80) 安藤千律子(81) 大野清一(82) 有野球哉(83) 安藤幸子(84) 飯田康治(85) 飯塚佳治(86) 生田時秀(87) 石正之(88) 石井康裕(89) 石澤中吉(90) 石田政史(91) 石橋裕(92) 伊地崎(93) 文字俊雄(94) 伊藤勇男(95) 福田博(96) 福原久(97) 井上博文(98) 今井岩夫(99) 今川裕造(100) 岩崎明(101) 岩崎茂雄(102) 岩瀬正昭(103) 榎田正次(104) 浮田秀明(105) 榎本健治(106) 浦谷善雄(107) 遠藤繁明(108) 遠藤幸(109) 遠藤正則(110) 遠藤道雄(111) 大久保治男(112) 大崎紀彦(113) 大城豊(114) 大根田昌生(115) 大庭

功(116) 大橋雅子(117) 岡本泰(118) 岡安一雄(119) 小川信(120) 沖山明(121) 小川隆夫(122) 小川信(123) 奥野光雄(124) 奥山郁男(125) 奥山五郎(126) 尾崎修一(127) 尾崎英雄(128) 小野孝(129) 尾保孝(130) 掛川友行(131) 佳文子(132) 加藤省(133) 加藤久(134) 加藤忠義(135) 加藤孝男(136) 加藤康人(137) 加藤孝男(138) 金田光司(139) 金田光平(140) 金田正美(141) 金高良夫(142) 金谷秀則(143) 亀崎正幸(144) 亀谷卓夫(145) 川元正(146) 木内裕喜(147) 木内安子(148) 北川繁(149) 木下(150) 堀江(151) 堀江正孝(152) 堀江正雄(153) 久保田(154) 久保田正一(155) 奥谷正雄(156) 久野信(157) 久米信(158) 倉田雅元(159) 栗下茂樹(160) 栗原力雄(161) 黒崎正(162) 黒須純一郎(163) 桑山裕(164) 小泉潤(165) 神山道(166) 小林(167) 小林重美(168) 小林正樹(169) 近藤(170) 近藤正(171) 近藤正(172) 近藤正(173) 近藤正(174) 近藤正(175) 近藤正(176) 近藤正(177) 近藤正(178) 近藤正(179) 近藤正(180) 近藤正(181) 近藤正(182) 近藤正(183) 近藤正(184) 近藤正(185) 近藤正(186) 近藤正(187) 近藤正(188) 近藤正(189) 近藤正(190) 近藤正(191) 近藤正(192) 近藤正(193) 近藤正(194) 近藤正(195) 近藤正(196) 近藤正(197) 近藤正(198) 近藤正(199) 近藤正(200)

野徳男(201) 齋藤昭次(202) 境秀夫(203) 坂本健一(204) 坂本幸男(205) 佐川安(206) 坂田誠(207) 佐々木泉一(208) 佐藤真雄(209) 佐藤真樹(210) 佐藤正治(211) 柴田圭介(212) 柴田靖夫(213) 島岡孝行(214) 島岡良衣(215) 島村邦昭(216) 下田(217) 下村康正(218) 神保博行(219) 杉村英記(220) 杉山隆(221) 鈴木あや子(222) 鈴木市昭(223) 鈴木高治(224) 鈴木達二(225) 鈴木美之(226) 鈴木幸幸(227) 鈴木祐二(228) 鈴木美之(229) 鈴木幸幸(230) 須藤朋広(231) 関正人(232) 関正人(233) 関正人(234) 関正人(235) 関正人(236) 関正人(237) 関正人(238) 関正人(239) 関正人(240) 関正人(241) 関正人(242) 関正人(243) 関正人(244) 関正人(245) 関正人(246) 関正人(247) 関正人(248) 関正人(249) 関正人(250) 関正人(251) 関正人(252) 関正人(253) 関正人(254) 関正人(255) 関正人(256) 関正人(257) 関正人(258) 関正人(259) 関正人(260) 関正人(261) 関正人(262) 関正人(263) 関正人(264) 関正人(265) 関正人(266) 関正人(267) 関正人(268) 関正人(269) 関正人(270) 関正人(271) 関正人(272) 関正人(273) 関正人(274) 関正人(275) 関正人(276) 関正人(277) 関正人(278) 関正人(279) 関正人(280) 関正人(281) 関正人(282) 関正人(283) 関正人(284) 関正人(285) 関正人(286) 関正人(287) 関正人(288) 関正人(289) 関正人(290) 関正人(291) 関正人(292) 関正人(293) 関正人(294) 関正人(295) 関正人(296) 関正人(297) 関正人(298) 関正人(299) 関正人(300)

野田貴章(301) 野村勝二(302) 博田忠平(303) 細誠(304) 蜂屋知幸(305) 花岡明(306) 花岡秀樹(307) 飯田暢克(308) 早川浩士(309) 林徳(310) 林泰子(311) 林弘正(312) 林泰弘(313) 原正次(314) 原田邦雄(315) 原田忠雄(316) 平井信男(317) 平川忠雄(318) 福田良宏(319) 藤原勇(320) 藤本(321) 藤本(322) 藤本(323) 藤本(324) 藤本(325) 藤本(326) 藤本(327) 藤本(328) 藤本(329) 藤本(330) 藤本(331) 藤本(332) 藤本(333) 藤本(334) 藤本(335) 藤本(336) 藤本(337) 藤本(338) 藤本(339) 藤本(340) 藤本(341) 藤本(342) 藤本(343) 藤本(344) 藤本(345) 藤本(346) 藤本(347) 藤本(348) 藤本(349) 藤本(350) 藤本(351) 藤本(352) 藤本(353) 藤本(354) 藤本(355) 藤本(356) 藤本(357) 藤本(358) 藤本(359) 藤本(360) 藤本(361) 藤本(362) 藤本(363) 藤本(364) 藤本(365) 藤本(366) 藤本(367) 藤本(368) 藤本(369) 藤本(370) 藤本(371) 藤本(372) 藤本(373) 藤本(374) 藤本(375) 藤本(376) 藤本(377) 藤本(378) 藤本(379) 藤本(380) 藤本(381) 藤本(382) 藤本(383) 藤本(384) 藤本(385) 藤本(386) 藤本(387) 藤本(388) 藤本(389) 藤本(390) 藤本(391) 藤本(392) 藤本(393) 藤本(394) 藤本(395) 藤本(396) 藤本(397) 藤本(398) 藤本(399) 藤本(400)



協力下さい

会費振り込みに  
おもしろくて  
楽しい行事いろいろ

白門文京区支部はあなたの会費で運営されています。公の  
スミーズな活動のため左記要領で会費をお振り込み下さい

年会費 二〇〇〇円  
郵便振替 〇〇二六〇一三一五八一七七五  
「白門会文京支部」代表 吉村博夫

### 白門東京文京区支部

支部長 田中 祺益  
副支部長 土屋 頼子

近藤 謙  
亀谷 卓夫  
吉村 博夫  
一文字 俊雄  
富田 誠一  
西村 友男  
桃川 龍一  
森田 重夫  
中川 浩治  
遠藤 正則  
飯塚 佳治  
下村 康正  
神保 博行  
坂本 幸男  
本橋 元一  
松沼 茂  
北川 繁  
利根川 伸行  
楠山 正雄  
飯田 康治  
戸井田 房治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

幹事 飯田 康治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

副幹事 飯田 康治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

相談役 飯塚 佳治  
下村 康正  
神保 博行  
坂本 幸男  
本橋 元一  
松沼 茂  
北川 繁  
利根川 伸行  
楠山 正雄  
飯田 康治  
戸井田 房治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

顧問 飯塚 佳治  
下村 康正  
神保 博行  
坂本 幸男  
本橋 元一  
松沼 茂  
北川 繁  
利根川 伸行  
楠山 正雄  
飯田 康治  
戸井田 房治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

幹事 飯田 康治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

副幹事 飯田 康治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

相談役 飯塚 佳治  
下村 康正  
神保 博行  
坂本 幸男  
本橋 元一  
松沼 茂  
北川 繁  
利根川 伸行  
楠山 正雄  
飯田 康治  
戸井田 房治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

顧問 飯塚 佳治  
下村 康正  
神保 博行  
坂本 幸男  
本橋 元一  
松沼 茂  
北川 繁  
利根川 伸行  
楠山 正雄  
飯田 康治  
戸井田 房治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

幹事 飯田 康治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

副幹事 飯田 康治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

相談役 飯塚 佳治  
下村 康正  
神保 博行  
坂本 幸男  
本橋 元一  
松沼 茂  
北川 繁  
利根川 伸行  
楠山 正雄  
飯田 康治  
戸井田 房治  
高松 秀幸  
秋場 文恵  
生田 時秀  
米村 邦輔  
平井 信男  
西村 輝雄  
柳沢 甲子雄  
藤原 光績  
木下 一彌  
奥野 邦穂  
村岡 隆雄  
原田 正  
窪岡 善則  
近藤 正  
森田 政彦  
伊地 皓二  
加藤 能久  
戸井田 ひろし  
小泉 潤一郎  
大根田 昌生  
村瀬 正  
奥山 勇五郎  
角貝 久雄  
加藤 康人

# 白門東京文京区支部

2001年(平成13年)

<p>株式会社 代表取締役 亀谷卓夫</p> <p>株式会社 関東電気自主検査協会</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>代表取締役 近藤 銆</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>音羽印刷株式会社</p> <p>代表取締役 土屋 一男</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>中央砥研材株式会社</p> <p>飯塚 佳治</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>
<p>和紙工芸品、民芸品の企画・制作 株式会社 松しん</p> <p>松 沼 茂</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>代表取締役 吉村 博夫</p> <p>株式会社 京永堂</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>株式会社 建報社</p> <p>取締役社長 一文字 俊雄</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>八重洲公証役場</p> <p>公証人 樋田 誠</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>
<p>店舗企画・設計制作・デザイン エスケイ創建</p> <p>北川 繁</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>弁護士 中川 浩治</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>株式会社 新製版</p> <p>代表取締役 西村 友男</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>株式会社 駒込不動産</p> <p>専務取締役 奥野 光績</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>
<p>税理士 松田 茂</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>代表取締役 利根川 伸行</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>すし処 湯島天神下 魚て津本店</p> <p>木下 一彌</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>	<p>編集・出版総合プロデューサー 株式会社 サンクロス</p> <p>代表取締役 窪岡 善則</p> <p>TEL: 03-3800-1141 FAX: 03-3800-1142</p>

編集後記 春宵一刻直千金——待望の桜もあつという間に終わり夜風が心地よい候となりました。編集委員 本橋元一、北川繁、松沼茂  
桜で一献、又は桜前線を追っかけて北へ向かうもよし。お陰様で会報第3号が刷りました。(窪) 近藤正、加藤康人、利根川伸行、窪岡善則